

学校名：学校法人開新学園 熊本工業専門学校

課程名・学科名：職業実践専門課程 自動車整備工学科・電気システム科・機械システム科

資料名：学校関係者評価結果公表資料

令和6年度学校関係者評価結果

1 令和6年度 熊本工業専門学校 教育重点目標

建学の精神「創造・倫理・実践」を礎に、我が国、とりわけ郷土熊本の産業経済に貢献できる人間性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな「中堅技術者」を養成するとともに、留学生に対して日本語教育を通し、広く国際貢献への橋渡しを行う。

また、留学生との交流を通し、国際的に活躍できる技術者となるための感性を磨かせる。

2 学校関係者評価委員会

日時 令和7年2月19日 15:30～

会場 本校 第三実習室

熊本工業専門学校

(1) 教育理念・目標

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・半導体など社会ニーズを捉え、将来へ動き出しているように感じるが学生や保護者、募集先高校など周知されているのか分からない。・理念と目標は明確に打ち出されているが、環境の変化に伴い、その対応のためにも本校の教育の特色をはっきりさせていく必要があると思う。・学校を紹介するHPと冊子の募集学科が一致していないのは問題。改組が遅れたことが原因と考えられますが、学生や保護者等や卒業生を受け入れてくれる企業等への周知も考慮した改組計画が望まれます。
回答	<ul style="list-style-type: none">●募集先高校へは新設学科のチラシを作成し、高校や進学説明会等で高校生に配布してPRした。●学科改編に合わせて教育の特色をはっきりさせていくためのアドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを作成したものを、パンフレットやホームページに掲載していく予定。●学科改編に伴い、ホームページは早急に対応している。パンフレットは3月末には完成させて、4月から配布できるように準備をしている。

(2) 学校運営

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none">・運営組織や意思決定機能、教務・財務等の組織整備などの情報が不足しているので評価することが難しい。・ホームページを見ていても、評価のための情報が少ないように感じました。・常日頃は業務効率化に取り組まれていると思いますが、DXの積極的な推進や工夫がより必要ではないかと思います。
-----------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針に沿った事業計画が策定され、実施されている。教育活動に関する成果はHPや冊子で紹介され、報告されているが、運営面での成果がわかりにくい。 ・規程等が不明なため評価できない部分があった。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ●次年度は運営組織について組織改編を行い取り組んでいく。 ●教務・財務関係の資料の情報提供は別途提示していきたい。 ●業務効率化はアンケート実施等、少しずつDXを取り入れた改善を行っている。 ●ホームページの更新はタイムリーに実施していく。学生募集は既に完成した。

(3) 教育活動

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対して毎年度事業評価を行い、学生満足度の取組みをされていると聞いているが、情報がないので評価できない。学生が将来どのようなキャリアを目指したいか、目指す姿は明確になっているか。 ・専門教育のための工夫は凝らしていると思うのですが、産学連携や資格取得等の実績などが見えないために、どのようになさっているのかが分かりにくいと感じました。 ・情報発信においてはかなり改善され魅力を感じますが、授業の魅力度合や満足度の向上に繋がる様な工夫が必要ではないかと感じます。 ・改組する学科のカリキュラムは、どのような人材を育成するために準備した学科かの説明があると、受験生や企業にも理解が得られやすいのではないのでしょうか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ●学生には授業評価を行っており、教師にフィードバックし改善を図っている。 ●次年度は半導体工学科を新設するため、目指す人材育成像を高校生に示して説明を行った。

(4) 学修成果

3. 5

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の活躍やキャリア形成への効果など把握しているのか不明。 ・就職100%という数字は素晴らしいと思うのですが、その中身が見えないのが残念です。 ・自己評価の中でも取り上げられているように、企業や卒業生との連携強化は非常に重要です。人材育成や教育活動の改善にもつながりますので、具体的な取組みを検討されたいかがでしょうか。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの卒業生の進路実績はホームページやパンフレットに掲載しているが、その年度の実績は各科の教育課程編成委員会で情報提供している。 ●パンフレットには卒業生のメッセージを掲載している。

	<p>●開新学園経済交流会にも積極的に参画していく。</p> <p>●令和6年度に熊本工業専門学校同窓会「熊工専会」を立ち上げ、同年9月7日、KKRホテル熊本にて「熊工専会」を開催した。</p>
--	---

(5) 学生支援

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<p>・卒業生と先生のコミュニケーションは出来ているのかわからない。学業に専念できる環境か、実態が分からない。</p> <p>・就職率の高さや中退率の低さから見ると、丁寧に支援活動を行っているのかと感じました。</p>
回答	<p>●高等教育の就学支援制度を活用し、学生への経済的支援を実施している。</p> <p>●学生の就職支援は担任を中心に、就職部と連携しながら個別に丁寧に対応している。</p> <p>●中退者数は、令和5年度～4人 令和6年度～3人</p>

(6) 教育環境

学校関係者評価委員会委員御意見	<p>・施設の整備については、計画的に進めていると聞いていたが進んでいるように感じない。経営的な事情はあると思いますがイメージ向上の為に早く進めてほしい。</p> <p>・施設設備の老朽化解消のため、もっと産学連携を推進すべきかと感じました。</p> <p>・インターンシップや先端技術講習など企業と連携し十分な教育体制が整備されていますが施設や設備の老朽化は喫緊の課題であると思います。可能な限りの投資計画の策定が必要だと思います</p> <p>・財政的にやや厳しい状況の中ではあるが、最低限の施設・設備の整備に取り組んでもらいたい。</p> <p>・資格取得のための教育には、設備の充実は不可欠です。</p>
回答	<p>●令和6年度は廃棄処分も含めて計画的に改善を行った。本館玄関改修（雨漏り・天井）、第一寮（寮室（床・カーテン・IHコンロ）。日本語科のトイレ改修予定あり。今後も施設設備の整備を行っていく。</p> <p>●今後も産学連携を推進していきたいと考えており、企業の皆様の御理解と御協力をお願いしたい。</p>

(7) 学生の受入れ募集

3. 3

学校関係者評価委員会委員御意見	<p>・県内の工業高、普通高の進路担当者との関係づくりを更に深めてほしい。熊工専ならではの魅力づくり。他校との差別が出来るPR内容E委員：県内の工業高校のみならず、普通高の進路担当者との関係づくり。</p> <p>・半導体分野だけではなく、熊本のものづくり人材の不足は喫緊の課題です。工業・ものづくりの魅力をきちんと発信されれば、生徒募集も叶うのではないのでしょうか？</p> <p>・外部環境を踏まえ半導体機械工学科の新設はとても魅力があり期待が持てると思いますが今後の教育カリキュラムをいかに魅力あるものにできるかが課題と考えます。</p>
-----------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・残念ながら、継続的な募集活動が充足率に繋がっていない。工専の魅力を知ってもらうための戦略的な活動の見直しはできないか。 ・少子化や普通高校、大学等への進学が増えている中、学生募集にご苦勞されていると思われます。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ●高校訪問の際には工業系の生徒には専門性を深める意味での募集を行い。普通高校には資格取得や技術を身に付けた後の進路先を示すことでPRを強化した。 ●九州半導体人材育成コンソーシアムメンバーとしての活動を実施していく。 ●充足率について <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 (合計181人→45%) 令和6年度 (合計245人→61%) 令和7年度 (合計322人→81%)

(8) 財務

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・財務改善を図る具体的な取り組みと投資計画の両立。 ・財務改善を図るために、新入生をいかにして確保するかのロードマップを ・財務基盤安定のためには全体の新入学生の確保が必要と思いますが、半導体機械工学科の新設でその定員人数の確保が喫緊の課題だと思います。 ・安定した財政基盤確立のためにも学生の充足率を上げる取り組みが必要。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ●日本語学科への留学生入学に向けた増員申請を行った。 ●半導体工学科の新設は受験者の増加につながり、入学予定者は増加した。 ●入学者数について <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度入学者 83人 令和6年度入学者 147人 令和7年度入学者 175人(10月期20人を含む) 入学予定 ※昨年は電気と機械を合わせて37人であったが、本年度は半導体工学科を47人が入学予定である。

(9) 法令等の遵守

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・評価自体は開示されていますが、適正さについては学校コンプライアンスやガバナンスコードを検討されても良いかと思われます。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ●校長を中心に教官会議等を通して、法令遵守の啓蒙を行っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

3. 4

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・企業とコラボした社会貢献や地域貢献活動を進めることが必要 ・紫陽花祭りによる地域貢献も継続してほしいと思いますが、熊本工業専門学校の魅力を最大限生かした地域貢献、例えば、車の6ヵ月、12ヵ月点検ボランティア、ネパール料理講習会ダイバーシティ推進のためのシンポジウム開催とかいろいろ工夫次第で面白くなるかと思います。 ・夏休み期間中に学生がボランティア活動に参加する機会は作れませんか。社会貢献・地域貢献を経験することは、社会人になってから役に立ちます。
回答	<p>●6月に紫陽花祭りを実施し、地域の住民の方々に来ていただいた。学校を取り巻く町内会から約190名の方々が来校された。この活動は来期も継続していきたい。</p> <p>●第一町内会の「町内会祭り」に本校の留学生がネパールの民族衣装で参加し、ネパールのダンスを披露し好評だった。今後も町内との関係を密にしていきたい。</p> <p>●12月に全学生によって学校近郊の道路清掃を実施した。</p>

(11) 国際交流

3. 5

学校関係者評価委員会委員御意見	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が不十分で判断が難しい。 ・以前はベトナムからの留学生が主流で、今はネパール人が中心になっていると聞きます。留学生受け入れの戦略について聞きたい。 ・少子化は避けて通れない課題であり今以上に留学生確保に向けた取り組みが必要ではないかと思います。留学生に安心・安全そして魅力を感じていただけるような施策が求められると思います。 ・資格取得等を考えると厳しいですが、これからの国際化を考えると日本人学生にも何らかの形で国際交流の経験をさせることはできませんか。
回答	<p>●留学生の募集は県内以外にも福岡、佐賀、長崎、沖縄の日本語学校を訪問して募集活動を行っている。</p> <p>●国際化についての対応として、令和7年度より半導体工学科に対して、中国語と英語を履修。</p> <p>●留学生の受け入れ戦略は、中国→韓国→ベトナム→ネパールへと留学生が変化した。経済が良くなった国の留学生は減少していく傾向がある。</p> <p>※ネパールからの留学生が減少する場合を考え、情報収集と視察などが必要</p> <p>●募集要項については、ネパール、ベトナム語版を使用中。パンフレットについても今後作成を検討している。</p>